

8-20

5/20

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 回 | 覧 | 伊 | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|

チャベス・プラム移住地
概況

海外移住事業団
エソカレサシオン事業所



正 誤 表

- (1) 1頁 5行目 IRA概算 を 大総額と訂正。
- (2) 20頁 8行目 (ニ) 1戸当り平均粗収入
10.400ヴァラニースを
104.000ヴァラニースに訂正。
- (3) 41頁 2行目 (ハ) 倉庫棟の「パクファ」にオニ
倉庫があり…… のオニ倉庫の次に
()内記入事項として(管理事務所を
含む)を挿入。
- (4) 41頁 2行目 (イ) 倉庫棟の(900 m^2)を
(834⁶² m^2)に訂正。

資料No. 13310 EM

1. チャベス (CHAVES) 植民地の沿革

JICA LIBRARY



1028817137

① 植民地の創設

チャベス植民地は、1953年パ国食民救済事業の一環として農業改良局 (Instituto de Reforma Agraria = I.R.A.) 管理のもとに創設されたもので、時のI.R.A.総裁の名前をとってCHAVES植民地としたもので、カピタン・ミランダ市 (自治区) に所属する。

植民地の総面積は、約8万ヘクタールで、1ロッテの面積は、20乃至25ヘクタール (奥地へ入ると面積がふえる) である。

② 日本人移住者の入植

日本人移住者の当植民地に対しての入植の経緯は、1952年 (昭和27年) 有限責任ブラジル拓植組合が、ラ・コルメーナ植民地に邦人120名を導引の枠を取得したが、入植適地が殆んど無かった為受入れ不能の状態であった。

当時、在パの笠松、石橋、日沖氏等は、この状態の打開を兼ねて、当チャベス植民地に邦人を導入すべく、引受機関として「旧邑拓植組合」を設立し、併行して120家族 (各戸当り20ヘクタール) の受入れの枠を取得した。

そこで先ずオーブ陣として1953年に、ラ・コルメーナより邦人8家族が転住した。その後、1954年 (昭和29年) に日本からのオーブ陣6家族を受入れ、以来1956年まで、前後9回に登り、110家族が入植した。以上の様な経緯の為、この地区は、他のフラム

アルト・パラナ等の移住事業団造成の移住地と異り、日芭混合の植民地である。

③ ティーベス農業協同組合

(イ) 設立の経緯

1956年8月(昭和31年)邦人入植者34戸をもって任意組合を結成したが、1958年に至り、法定組合として正式に認可を取付けた。当時の組合員64名、その後一時組合員数約100戸となったが、組合指定農産物横流し等のため、約60%の離脱者ないし除名者を出し、わずか41戸の小組合となった。又一時イタプア農協連(後述)から脱退する等、若干の混乱を経て今日に至っている。

現在の組合員数45戸(内パ国人3名)。

(ロ) 組合の認可年月日

1958年7月18日。

(ハ) 組合の事業区面積(別添図面参照)

ティーベス植民地約80,000ヘクタールの内、邦人関係は国道西側約16,000ヘクタールの中である。

(ニ) 組合員数

45戸(内3戸パ国人)(247名)

(ホ) 組合の役員数

理事 7名(任期2年)専務理事常勤。

監事 3名(任期3年、毎年1名ずつ改選)

へ 出資金

(1) 1口 40,500グアラニース。

内訳：加入即時金 15,000グアラニースの30%。

(約5,000-グアラニース)。

加入年度内に 15,000グアラニースより30%を差引いた金額を納める。

残は、指定農産物代金の4%を目標額に達するまで積立てる。

(2) 組合の目標額 198,450-グアラニース。

(3) 既支払込出資額 76,570.53 グアラニース。

(1964年2月末日現在)

(ト) 組合の資産

(1) 建物 辰貞宿舍 2棟。

(2) 車輛 トラック 1台 (いすゞ6吨車)

(3) 機械類 ドラックター 1台。

(チ) 営農状況 (組合員のみ)

(1) 1963年度までの永年作物植栽面積

| | | 年 次 別 | | | | | | 計 | |
|-------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|
| | | 57年(8社) | 58年(7社) | 59年(6社) | 60年(5社) | 61年(4社) | 62年(3社) | | 63年(2社) |
| 種 類 別 | 油 桐 | 58.5 | 15.5 | 9- | 35.5 | 95- | 63- | 113.5 | 390- |
| | マテ茶 | - | - | 23.5 | 7.5 | 3.5 | 1- | - | 35.5 |
| | 柑 橘 | - | - | 7.5 | 2.5 | 6- | 24.2 | 2.4 | 42.5 |
| | ポ.メ.口 | - | - | 5- | 6.2 | 3.5 | 8- | 1.5 | 24.5 |

(単位ヘクタール)

(注) 但しチャベス移住地には、前記数字の約2倍の永年作物が組合員外の日本人(80家族)により作られている

(ロ) 1963年度末所家畜数

牛 63頭 (役牛34、乳牛29)

馬 47頭 (耕馬、乗馬)

豚 263頭 (油豚、肉豚)

鶏 1018羽

(ハ) 1963年度作付耕地総面積

756.5ヘクタール (1戸平均 18ヘクタール)

(ニ) 1戸当り平均粗収入 (農業収入のみ)

142,300 グアラニース

(ホ) 1戸当り平均生活費 55,300 グアラニース

(ヘ) " 営農費 71,700 グアラニース

(リ) 参考事項

87,400⁹

16,000⁴ = 43,000⁹

(1) 1963年度作付 (短期) 面積 (単位ヘクタール)

マ イ ス 230.2²ヘクタール

大 豆 250. - "

棉 花 48.6⁶ "

雑 豆 104.9⁹ "

米 110.7⁷ "

その他 62.3³ "

合計 706.7ヘクタール

(註) 特色 その他作物62.3ヘクタールは、トマト、人参、キャベツ等都市向け蔬菜が主である。

(2) 1963年度組合員総収入および総支出明細

◎(収入)

| | | | |
|-----------|-----------|---|-------------|
| 大豆 | 1463.245 | 所 | A+B-C |
| 棉花 | 533.150 | 所 | 5,991,340A |
| 雑豆 | 310.550 | 所 | 794,000B |
| その他(米を含む) | 2129.400 | 所 | 6,785,340 |
| 油桐 | 1,243.983 | 所 | 5,336,505C |
| ホメロ | 36.812 | 所 | 1761(組合員45) |
| シシバ | 2.100 | 所 | 32,196 |
| | | | 96,588A |

農業収入合計 5991.340-ガラニース — A

農外収入 794.000 — B

(給料、年金、機械賃貸料他)

農家総収入 6785.340-ガラニース

◎(支出) 生活費 2323.340-ガラニース

営農費 3013.165-ガラニース

支出合計 5336.505-ガラニース — C

(註) 組合分担金、学校協力費、その他の支出は、農

外支出にて差引いている。

(3) 最高所得者の営農状況

(A氏 稼働者 4人 1955年8月入植)

耕地所有面積 47ヘクタール (永年作 24, 短期作 39³ 1部
間作)

◎ 農業収入 (組合を通じた農産物のみを)

| | | | |
|------|-------|----------|--------|
| 永年作物 | 油 桐 | 59,100. | グアラニース |
| | マテ茶 | 2,100. | 〃 |
| | ポメロ | 12,000. | 〃 |
| 短期作物 | マ イ ス | 18,000. | 〃 |
| | 大 豆 | 91,300. | 〃 |
| | 棉 花 | 72,600. | 〃 |
| | 雑 豆 | 11,700. | 〃 |
| | その他 | 141,000. | 〃 |

農業収入合計 407,800. グアラニース

農外収入 21,000. 〃

収入合計...④ 428,800.- グアラニース

◎ 支 出 営農費 275,000.- グアラニース

生活費 1,01,000.- = 303,000^①

その他支出 4,400.- 〃

支出合計...⑤ 380,400.- グアラニース

◎ 差引余剰 ④ - ⑤ = { 48,400.- グアラニース

-④- { = 145,200^②

4) 教育

イ) パ国教育

(1) 小学校生徒数

| 国籍 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | 計 | |
|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | |
| 日本人 | 8 | 9 | 17 | 11 | 3 | 14 | 9 | 4 | 13 | 5 | 6 | 11 | 4 | 67 |
| パ國人 | 49 | 46 | 95 | 47 | 31 | 78 | 37 | 17 | 54 | 16 | 23 | 39 | 13 | 300 |
| 計 | 57 | 55 | 112 | 58 | 34 | 92 | 46 | 21 | 67 | 21 | 29 | 50 | 17 | 367 |

(注) a 本統計はチャベス中央校(ニッポ・パラグァジャ)及びウルグァイ小学校の補助金建築2校のみのものである。

b ウルグァイ小学校は分校的な学校で4年までである。

c この他に日本人子弟20名位が他の小学校に通学している。

(2) 教 師

ニッポ・パラグァジャ校 1級2名、5級1名、7級1名。

ウルグァイ校 4級1名、5級1名。

ロ) 日本語教育

(1) ニッポ・パラグァジャ校

a 生徒数

| 性別 | 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 子 | | 7 | 11 | 9 | 5 | 4 | 3 | 37 |
| 女 子 | | 6 | 4 | 2 | 5 | 4 | 1 | 22 |
| 計 | | 13 | 15 | 11 | 8 | 8 | 4 | 59 |

b 教 師 根本和昌 北山 猛

c教 課 国 語

(2) ウルグアイ校

a 生徒数

| 性別 | 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 子 | | 3 | 2 | 3 | 1 | - | - | 7 |
| 女 子 | | 4 | 3 | 3 | 1 | - | - | 11 |
| 計 | | 7 | 5 | 6 | 2 | - | - | 20 |

b 教 師 加藤幸太郎

c 教 課 国 語

5 治 安

(1) 警 察 管轄としては、地区を二分(E線)してヘスス警察とカピタン・ミランダ警察が、治安の任にあたって居る。カピタン・ミランダ管轄には、派出所(D線添農協隣)が設置されている。コミサリオ他兵隊3名。

(2) 判 事 カピタン・ミランダ判事事務所を所居。

(3) 地域内に在る事業団建築の施設。

(4) 小学校 2棟(木造、中央校、ウルグアイ校、各1校)

尚、39年度中に中央校に、煉瓦建1棟及び教員住宅1棟を建築する。

(5) 倉庫 1棟 (農協事務所、販売所、物品倉庫として利用)

2. フラム (FRAM) 植民地の沿革.

(1) 植民地の創設.

フラム植民地は、旧移住振興会社(1955年発足)が、1956年にフラム土地会社の所有地の内から、15,730ヘクタールを分割購入し、造成した移住地である。現在フラム市(自治区=市役所アペリア)に所屬している。フラム移住地と稱しているなかには、旧移住振興会社により造成された部分の他一部直接フラム土地会社より分譲を受けたものも含まれている。

(2) 日本人移住者の入植.

1955年(昭和30年)に、フラム土地会社の分譲地(1ロット50ha)に6家族入植したのが始まりである。当初の頃しばらくは、カルメン、アペリアを経由して入植が続いた。これ等のうち一部は、アペリア地方のロシア人移住者の古い耕地を入手し落ち着いたものもある。

その後、1956年末には、広島県の沼隅町を中心とした分村移住、更に1957年には、高知県大正町を中心とした分村移住が行なわれ、向もなく満植となった。これ等の入植者は、それぞれ地域別に、富士、ラパス、サンタローサ、の三農業協同組合を結成し、今日に至っている。

(3) 富士農業協同組合.

イ) 設立の経緯.

1956年11月アペレア、大和地区の入植者を除く（アペレア、大和地区の者は、当時ラパス農協に加入した。）36戸にて共同の経済的发展を企図して、任意組合を結成した。

1957年9月に至り、法定組合としての「富士農業協同組合」が認可された。認可時組合員数105戸。その後アペレア、大和地区の入植者も、ラパス組合より移り、1961年には一時140戸を数えたが、組合の運営の拙劣による経営不振、指定農産物の横流し等の為、脱退者、除名者が続出し、現在僅か78戸を数える状況である。組合運営の下部機構として次の8実行組合がおかれている。

千代田、エスペランサ、セントラル、愛媛、新生、富士、大和、アペレア

(四) 認可年月日 1957年9月23日

(ハ) 組合の事業区域 (別添図面参照)

フラム土地会社の分を併せて68,400ヘクタール

(ニ) 組合員数 78戸(485名) 1964年2月末日現在

(ホ) 組合の役員数 理事 9名(任期2年) 内専務理事
を含め常勤理事3名

監事 3名(任期2年)

(ヘ) 出資金

(1) 1口 40,000-グァラニース

内訳 加入時現金 1,000-アメリカドル

残は指定農産物販売代金の6%を積立てる。

尚出資額 21,000を越えた場合は4%を積立てる。

(2) 組合の目標額 3,198,000-アメリカドル

(3) 既払込出資額 1,044,263-

(イ) 組合の資産

(1) 建物 事務所 1棟

共同販売所 1棟

炊事場兼職員宿舎 1棟

車庫兼農機具舎 1棟

(2) 車輛 トラック 1台 (いすゞ6セ車)

ジープ 1台 (トヨタ)

(3) 機械 澱粉加工機 1台

(ロ) 営農状況

(1) 1963年度までの永年作物植栽面積

| 年次 | 種 類 別 (単位=ヘクタール) | | | |
|-----------|------------------|------|------|------|
| | 油 桐 | マテ茶 | ポメロ | その他 |
| 58年(7年以上) | 34.2 | - | 1.5 | 3.5 |
| 59年(6 " | 12.2 | 8.1 | 7. | 6.2 |
| 60年(5 " | 20. | 19. | 5.2 | 1.8 |
| 61年(4 " | 17.3 | 16.2 | 14.3 | 5.6 |
| 62年(3 " | 17.9 | 4. | - | 6. |
| 63年(2 " | 19.7 | 7. | - | - |
| 合 計 | 61.52 | 54.2 | 28.5 | 26.2 |

(註) a. 1964年度 油桐400ヘクタールを作付ける計画をもつ。

も以上の他、地域内日本人組合員外（58戸）の油桐栽培面積は、150ヘクタール。マテ茶、50ヘクタールがある。

(ロ) 1963年度所有家畜数

| | |
|---|----------------------|
| 牛 | 133頭（主に肉牛であり乳牛は約10頭） |
| 馬 | 133頭（耕馬、乗馬） |
| 豚 | 989頭（油、肉兼用） |
| 鶏 | 3258羽（肉用鶏） |

(ハ) 1963年度耕地面積 1,404ヘクタール
 （1戸平均 18ヘクタール）

(ニ) 1戸当り平均粗収入 97,100.- グァラノース
 （農業収入のみ）

(ホ) 1戸当り平均生活費 47,900.- グァラノース

(ヘ) 〃 〃 営農費 52,100.- 〃 〃

(リ) 参考事項

イ) 1963年度作付面積（単位ヘクタール）

| | |
|-------|---------|
| マ イ ス | 631.8 |
| 大 豆 | 436.8 |
| 棉 花 | 194.4 |
| 雑 豆 | 72.9 |
| そ の 他 | 56.7 |
| 合 計 | 1,392.6 |

ロ) 1962年度組合員総収入及び総支出明細

◎ 収入 (農業収入)

| | | |
|-------|------------|--------|
| マيس | 2038.140.- | グァラニース |
| 大豆 | 2773.680.- | 〃 |
| 棉花 | 1464.840.- | 〃 |
| 推豆 | 272.220.- | 〃 |
| その他短期 | 540.930.- | 〃 |
| 油桐 | 473.694.- | 〃 |
| マテ茶 | 12.000.- | 〃 |
| 合計 | 7575.504.- | グァラニース |

(農外収入) 898.235.- 〃

註) 上記農外収入は農外支出を差引いた利益を計上した。

農家収入合計 8,473.739.- グァラニース

| | | | |
|------|-----|-------------|--------|
| ◎ 支出 | 生活費 | 3,736.200.- | グァラニース |
| | 営農費 | 4,063.800.- | 〃 |

農家支出合計 7,800.000.- 〃

ハ) 最高級所得者の営農状況 (1964年2月現在)

(S氏 = 1958年9月入植 家族数8人、稼働者5人)

土地所有面積 88ヘクタール

開墾済面積 46 〃

所有家畜 牛 3、馬 1、豚 21、鶏 50

◎ 収入 (A) 農業収入 324,000- グアラニース.

内訳 マイス 60,000- "

大豆 140,000- "

棉花 100,000- "

雑豆 2,000- "

その他 5,000- "

油桐 5,000- "

マテ茶 12,000- "

(以上農協を通じ販売したもののみ)

(B) 農外収入 65,000- グアラニース.

◎ 支出 (C) 営農費 162,500- "

(D) 生活費 83,500- "

(E) 農外支出(その他) 53,600- "

差引余剰 (A+B)-(C+D+E) = 89,400- グアラニース.

≒ 268,200円

4. ニッポニア(NIPONIA)町

富士農業協同組合は、過去における放漫な運営の為、相当なる赤字を出し、現在再建途上にある。この争もあずかって、従来他の農協と同様にあつかつていた非経済的業務(行政関係事務等)一切を切離した。この為、富士地域の全員(組合員・非組合員の別なし、但しアペリア地区は除外)で、非経済的業務を取扱う機関として、任意的自治団体「ニッポニア町」を結成した。

(イ) 取扱業務

教育、治安、厚生、土木

諸手続等農協に属さない事項すべて。事務所は現在農協の倉庫内に置いている。

(ロ) 役員

町長 (公選)

助役、収入役(兼書記) 議会の同意を得て町長が任命。

(ハ) 議員

各区より1名選出。(千代田、エスペランサ、セントラル、愛媛、新生、富士、大和の七区で、アペリアは地成的な関係で不参加)

(ニ) 予算

各戸より分担金で徴収。

町費：各戸毎月20-グァラニースの他、特別戸数割として各戸年間300-グァラニース)

教育費：各戸毎月30-グァラニースと児童1人に付

毎月40-グァラニース。

治安費：各戸毎月45-グァラニース。

5. 教育。

(イ) パ国教育。

(i) 小学校生徒数。

| 国籍 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | 合計 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | |
| 日本人 | 8 | 8 | 16 | 13 | 3 | 16 | 10 | 14 | 24 | 14 | 18 | 32 | 8 | 12 | 20 | 13 | 9 | 22 | 130 |
| パ國人 | 20 | 14 | 34 | 9 | 5 | 14 | 8 | 10 | 18 | 14 | 9 | 23 | 10 | 3 | 13 | - | - | - | 102 |
| 合計 | 28 | 22 | 50 | 22 | 8 | 30 | 18 | 24 | 42 | 28 | 27 | 55 | 18 | 15 | 33 | 13 | 9 | 22 | 232 |

(注)a. 本地区は昨年度千代田大和富士の3校を統合し本年度更にセントラル校を併合した。

b. 通学は、事業団貸与の中右トラックをスクールバスとして利用。

c. この他、アペリア校、その他現地人小学校に通学している日本人子弟約30名と推定。

(2) 教師 1級2名 4級2名

(ロ) 日本語教育

(1) 生徒数

| 性別 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男子 | 4 | 8 | 3 | 8 | - | 2 | 25 |
| 女子 | 7 | 10 | 3 | 18 | 4 | 3 | 45 |
| 計 | 11 | 18 | 6 | 26 | 4 | 5 | 70 |

(2) 教師 石垣政美 片岡亮一

(3) 教 課 国語、スペイン語。

6. 治 守

(1) 警 察 従来の請願巡査にvari大巾に权限を有する警察
学校出の有資格のコミサリオが、本年度より派遣
され、治安の任にあつている。

(2) 判 事 最近新たに、フラム移住地(主として日本人移
住地)を、司法区とした判事が任命され、近く決
定される市街地に常駐することになっている。

この為、従来、手続には「アペリアまで行かなけ
ればならなかつた不便は解消される。

7. 地域内に在る事業団建築の施設。

(1) 小 学 校 2棟 (木造、旧富士校及び旧大和校の一部を移築)

(2) 教 師 住 宅 1棟 (木造、旧千代田校の一部を移築したもの)

(3) 公 会 堂 2棟 (木造、旧大和、千代田校の半棟残置部分)

(4) 倉 庫 1棟 (木造、農協所在地に購売品、販売品倉庫と
して利用。)

尚 39年度中に煉瓦建校舎1棟、教員宿舍1棟、及び警察
屯所1棟を建築する。

8. ラ・パス農業協同組合

イ. 設立の経緯

1956年末より、広島県沼隈町の分町移住者オー陣が、アペレア
経由入植した。(この経路はオ三陣以後チャベス経由に変わる)

これ等の集団移住者 57家族は、当初、備後開拓組合をつくって
あったが同一地域及び若干離れてはいるが、アペレア、大和地区
に入植した他県よりの入植者とも共同して、経済の発展をはかる
べく協同組合を結成し、1957年末に法定組合として認可されるに
至った。その後、アペレア、大和地区の入植者が、地理的な
関係等から離脱し富士組合に移った。

又、一時組合の運営に関する意見の衝突等あり、十数名の除名者
を出し混乱したが、現在は平穏にもどっている。

ロ. 認可年月日. 1957年12月25日.

ハ. 組合の事業面積 (別添図面参照)

約 3,000ヘクタール.

ニ. 組合員数. 69戸 (322名).....組合員中には全々農業に
従事していない専帯6戸.

ホ. 組合の役員数. 理事 7名 (任期2年)

監事 3名 (任期3年、毎年1名づつ改選
する.)

ハ 出 資 金

イ) 1口 20500-グアラニース

内訳 加入時現金 500グアラニース

残は指定農産物販売代金の4%を積立てる。

ロ) 組合の目標額 1414.500-グアラニース

ハ) 既払込出資金額 706.277⁶⁰

ト 組合の資産

イ) 建物 炊事場兼会議所 1棟

倉庫 2棟 (1棟農協, 1棟は九州地区)

ロ) 車輛 トラック 1台 (いすゞ6吨車)

チ 営農状況 (組合員のみ)

イ) 1963年度までの永年作物植栽面積

| 年 次 | 種 類 別 (単位ヘクタール) | | | |
|----------|-----------------|-------|-----|-----|
| | 油 桐 | マテ茶 | ポメロ | その他 |
| 59年(6年生) | 2. | - | - | - |
| 60年(5") | 140. | } 35. | | |
| 61年(4") | 170. | | | |
| 62年(3") | 200 | | | |
| 63年(2") | 104 | | | |
| 合 計 | 616. | 35 | | |

(註) 上表のみ、非組合員分油桐約100ha、マテ茶約10haを合

む。尚、64年度作付計画(油桐)は100haを準備中。

ロ) 1963年度末所有家畜数

牛 41頭 (主に肉、耕牛)

馬 57頭 (耕馬、乗馬)

豚 388頭 (油、肉)

鶏 1,200羽

ウ 1963年度作付耕地面積 1,085.8ヘクタール
(一戸平均15.7ヘクタール)

但し実際の営農従事者は6戸であり、その平均作付耕地面積は、17.8ヘクタールである。

(ニ) 一戸当り平均粗収入 10,400.0ギアラニース
(組合取扱農産物のみ計上)

ホ 一戸当り平均生活費 45,300.0ギアラニース

ハ 〃 営農費 61,437.0 〃

リ 参考事項

ロ 1963年度作付(短期)面積(単位ヘクタール)

マ イ ス 331

大 豆 95

棉 花 156

小 麦 60

そ の 他 130

合 計 772.0ヘクタール

リ 1963年度組合員総収入及び総支出明細

◎ 収 入 (農業収入) 組合取扱農産物のみ計上。

| | | |
|-------|------------|--------|
| マ-イ-ス | 1,147,783- | グアラニース |
| 大豆 | 2,088,673- | 〃 |
| 棉花 | 2,911,852- | 〃 |
| その他 | 200,099- | 〃 |
| 合計 | 6,348,408- | グアラニース |
| 農外収入 | 1,021,433- | 〃 |
| 農家総収入 | 7,369,841- | グアラニース |

| | | | |
|------|-----|------------|--------|
| ◎ 支出 | 生活費 | 2,765,374- | グアラニース |
| | 営農費 | 3,747,667- | 〃 |

農家総支出 6,513,041- グアラニース

(註) 組合員は68名であるが実際の営農従事者は61名である。

iv 最高級所得者の営農状況 (1964年2月末現在)

(M氏 1957年入植 家族8人 稼働力5人)

| | | |
|--------|------|-------|
| 土地所有面積 | 50 | ヘクタール |
| 耕作面積 | 43 | ヘクタール |
| 所有家畜 | 馬 3頭 | 豚 15頭 |
| | | 鶏 30羽 |

(収入) (A) 農業収入 458,480- グアラニース

| | | | |
|----|----|----------|---|
| 内訳 | 大豆 | 52,290- | 〃 |
| | 棉花 | 384,710- | 〃 |
| | 雑豆 | 1,500 | 〃 |

米 5,400- ヴァラニース
 その他 9,000- "
 油 桐 5,580- "
 (B) 農外収入 5,000- "

(支出)

(C) 営農費 131,700- ヴァラニース
 (D) 生活費 58,250- "
 (E) 農外支出 100,000- "

(土地を購入)

差引農家余剰

$(A+B)-(C+D+E) = 173,530-$ ヴァラニース

9. 教育

≒ 520,590円

イ. パ国教育

(1) 小学校生徒数

| 国籍 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | 合計 | |
|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|---|
| | 男 | 女計 | 男 | 女計 | 男 | 女計 | 男 | 女計 | 男 | 女計 | 男 | 女計 | | |
| 日本人 | 6 | 410 | 3 | 58 | 9 | 615 | 8 | 513 | 8 | 412 | 7 | 714 | 72 | |
| パ国人 | 2 | - | 2 | 1 | 3 | - | - | 1 | 1 | 2 | - | - | - | 7 |
| 合計 | 8 | 412 | 5 | 59 | 12 | 615 | 9 | 514 | 10 | 414 | 7 | 714 | 79 | |

(注) オニ小学校は現在廃校状態で全員オニ小学校へ通学。

(ロ) 教師 1級2名、5級1名

ロ. 日本語教育

(1) 生徒数

| 性別 | 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男子 | | 5 | 6 | 15 | 2 | - | - | 28 |
| 女子 | | 1 | 10 | 12 | 5 | - | - | 28 |
| 計 | | 6 | 16 | 27 | 7 | - | - | 56 |

(ロ) 教師 弥政忠義、小田孝子、北川芳雄。

(ハ) 教 課 国 語、算 数。

10. 治 安

(イ) 警 察 ニッポニア町の場合と同様本年より有資格のコミ
サリオが配属になり、治安の任にあっている。

(ロ) 判 事 フラム植民地全体を司法区とする判事。

(ニッポニア町と同様)。

11. 地域内に在る事業団建築の施設

(イ) 小 学 校 2棟 (木造 オー、オニ小学校各1棟)

(ロ) 共 同 販 売 所 1棟 (木造 農協事務所、購売部として利用)

* 尚 39年度中に煉瓦建校舎1棟、教員住宅1棟建築のほか
警察官宿舎兼屯所1棟建築等予定。

1.2. サンタ・ローサ農業協同組合

イ 設立の経緯

1957年、高知県大正町を中心とした集団入植者は、フラム移住地の最北端に入植すべくエンカルナシオンより国道を北上し、バス街を至由して、現地奥に入植した。これ等の21家族は任意組合フラム大正農業協同組合を設立した。その後、後続移住者の入植と同一地区に入植した他県のものを含め1958年正式に「サンタ・ローサ農業協同組合」として法定組合の認可をうけ、今日に至っている。

尚、当初創ったフラム大正農業協同組合は、サンタ・ローサ農業協同組合設立と同時に解散した。

ロ 認可年月日 1958年2月28日

ハ 組合の事業面積 (別添図面)

ニ 組合員数 143戸 (794名)

ホ 組合の役員数 理事 10名 (任期2年)

(専務理事常勤)

監事 3名 (任期2年)

ヘ 出資金

(イ) 1口 41,000.- グァラニース (最高2口)

内訳 加入時現金 1,000.- グァラニース

残は指定農産物販売代金より4%の積立。

(ロ) 組合の目標額 6,191,000.- ヶアラキース

(ハ) 既払込出資金額 2,550,035.²⁹

ト. 組合の資産

- (イ) 建物 組合事務所 1棟
- 取組住宅 2棟
- 炊事場 1棟
- 取組住宅兼診療室 1棟
- 倉庫(販売) 1棟
- 保安官駐在所 1棟
- 支所 1棟

(ロ) 工場 マテ茶オー次加工工場 3棟

(処理能力 1日 生葉3トン)

- (イ) 車輛 トラック 3台 (新車2, 中古1, 各6セ車)
- ジープ 2台 (トレーラー付2)

チ. 営農状況 (組合員のみ)

(イ) 1963年度までの永年作物植栽面積

| 年次 | 種 類 別 (単位ヘクタール) | | | |
|----------|-----------------|--------|-------|------|
| | 油 桐 | マテ茶 | ポメロ | その他 |
| 58年(7年生) | 18 | 54.2 | 83 | |
| 59年(6") | 27.2 | 183.65 | 31.3 | |
| 60年(5") | 78.2 | 90.2 | 25.1 | |
| 61年(4") | 409.3 | 42.2 | 11.1 | |
| 62年(3") | 303.6 | 31.1 | 17.2 | |
| 63年(2") | 449.3 | 15.4 | 17.8 | |
| 合 計 | 1,286.5 | 416.25 | 111.3 | 24.8 |

(註) 本年度(1964)作付計画は、油桐 507ヘクタール
 マテ茶 30⁵ヘクタール、
 その他 71.ヘクタール

その他永年作物にブドウ、柑橘、桃、ペカン等がある。

(ロ) 1963年度末所有家畜数

牛 214頭 (肉牛56、乳牛103、役牛55)

馬 105頭 (車馬17、耕馬26、乗馬62)

豚 1695頭 (成豚842、仔豚853)

鶏 4598羽 (成鶏2784、雛1814)

(ウ) 1963年度作付耕地面積 3,233ヘクタール

(イ) 1戸当り平均粗収入 131,700- グァラニース

(ホ) " 生活費 40,671- "

(ハ) " 営農費 73,728- "

リ 参考事項

(イ) 1963年度作付(短期)面積(単位ヘクタール)

マ イ ス (一期) 680²

" (二期) 35²

大 豆 1,713⁴

棉 花 230⁵

雑 豆 74⁴

米 83²

合計 2,816.9ヘクタール

④ 1963年度組合員総収入及び総支出明細

| ◎ 収入 (農業収入) | 単位 グアラース |
|-------------|--------------------------|
| マ イ ス | 2,084,550 ⁵⁶ |
| 大 豆 | 1,041,634 ⁷⁷ |
| 棉 花 | 4,065,722 ⁵⁰ |
| 雑 豆 | 361,289 ⁹¹ |
| 米 | 1,115,021 ¹⁵ |
| そ の 他 | 52,128.- |
| 油 桐 | 164,393 ⁸⁰ |
| ポ ヂ 口 | 53,900.- |
| 豚 油 | 115,819 ¹⁸ |
| 生 豚 | 409,707.- |
| 合 計 | 18,839,366 ⁸⁷ |

(註) 当農協はマテ茶を生産しているが、価格の調整がつかず、販売を見合わせて本年度に現物を持越している為収入なし

(農外収入) 3,181,920.- グアラース

農家総収入 22,021,286⁸⁷

◎ 支出

生活費 5,804,035. グアラース

| | | |
|-------|-------------|--------|
| 営農費 | 10,543,144- | グァラニース |
| 運賃 | 1,254,828- | グァラニース |
| 販売手数料 | 837,787- | グァラニース |
| 土地代 | 1,832,526- | グァラニース |
| 出資積立金 | 833,292- | グァラニース |
| 合計 | 21,105,612- | グァラニース |

④ 最高級所得者の営農状況 (1964年2月末現在)

(丁氏、1957年11月入植、家族10人、稼働力6人)

土地所有面積 585ヘクタール

開墾済面積 75 "

所有家畜 馬1頭、豚55頭、鶏35羽

◎収入

(A) 農業収入 7,378,760- グァラニース

内訳 マイス 12,000- グァラニース

大豆 630,376- グァラニース

棉花 25,502- グァラニース

雑豆 10,000- グァラニース

畜産 60,000- グァラニース

(豚油生豚)

(B) 農外収入 40,000- "

(注) 機械賃貸料、農産物搬送運賃収入他。

(C)生活費 94,800.- ヶラ=ース

(D)営農費 441,058.- ヶ

(E)土地代 168,000.- ヶ

差引 農家余剰

$(A+B)-(C+D+E) = 142,018$ - ヶラ=ース:

13. 教育

イ 外国教育

(1) 小学校生徒数

| 国籍 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | 合計 | | | | | |
|-----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|----|-----|----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | | | | | |
| 日本人 | 10 | 5 | 15 | 16 | 15 | 31 | 17 | 11 | 28 | 13 | 23 | 48 | 14 | 3 | 6 | 9 | 122 | |
| 外国人 | 2 | 1 | 3 | - | - | - | 1 | - | 1 | - | - | 2 | 2 | 3 | 3 | 6 | - | 12 |
| 合計 | 12 | 6 | 18 | 16 | 15 | 31 | 18 | 11 | 29 | 13 | 23 | 51 | 17 | 3 | 9 | 13 | 134 | |

(注) a. 相当離れた場所にあったオー、ネ二の両校を本年統合。

b. 学童通学用として交付金によりスクールバスを購入貸与の予定。(近日到着)

(ロ) 教師 1級 1名 4級 2名

ロ 日本語教育

(1) 生徒数

| 性別 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 男子 | 16 | 17 | 17 | 20 | 11 | 9 | 90 |
| 女子 | 13 | 13 | 11 | 15 | 15 | 8 | 75 |
| 計 | 29 | 30 | 28 | 35 | 26 | 17 | 165 |

(ロ) 教師 筒井 正、木棉一三、久岡 寛

(ハ) 教課 国語、算数、社会

14. 治安

イ. 警察 ニッポニア町、ラ・パスと同じく本年より有資格
コミサリオが配属になり、治安の任に当たっている。

ロ. 判 事 ニッポニア町、ラ・パスと同様の判事。

15. 地域内に在る事業団建築の施設。

イ. 小学校 2棟 (木造、オーオニ校を移築しサンタ・ローサ
小学校として利用)

ロ. 共同販売所 1棟 (木造、組合事務所、購売部として利用)

ハ. 倉 庫 1棟 (木造)

ニ. 保安官駐在所 半棟 (木造、農協が半棟分負担)

ホ. マテ茶倉庫 1棟 (煉瓦)

ヘ. 39年度中に煉瓦建小学校1棟、教育宿舍1棟及び警察屯所を
1棟建築。

16. イタプア農業協同組合連合会

イ. 沿革

イタプア県下に入植した日本人移住者は、それぞれ地域毎に農業協同組を結成（チャベス、畠土、ラ・パス、サンタ・ローサ）したが、小さな単協個々では、生産物の販売にも隘路が多く、又生活必需物資の購入も余り思わしくないため、1958年春頃より、これらの単協を組合員とする連合体を組織し、販売、購売が出来る様にしようの気運が盛り上り、各農協の組合長、専務合同協議の結果、連合会を組織することを決定した。

この様にして暫時任意団体の連合会として進んだが、1959年2月25日、当国農牧省の認可の下に法定組合としての創立総会を開き、名実共にイタプア農協連が誕生した。その後、運賃プール問題などでチャベス農協の脱退さゆぎもあったが、再び復帰し、今日に至っている。

ロ. 認可年月日. 1959年10月16日.

ハ. 構成組合 (結成時) チャベス、畠土、ラ・パス、サンタ・ローサ
(その後加入) アルト・パラナ

ニ. 連合会の役員. 理事 各単協より3名 計15名 (任期2年) 会長専務は役員の互選で常勤である。

監事 3名 (任期2年) チャベス及び

富士より1名、アルト・パラナより1名、
ラ・パス・サンタ・ローサより1名の選出方法
を執る。

ホ. 出 資 金

- (イ) 1口 1,100,000.- グァラニース
- (a) 加入時現金 100,000.- グァラニース
- (b) 一部は出荷代金より積立。(単協積立4%の内1%)
- (ロ) 目標額 5,500,000.- グァラニース
- (ハ) 既払込出資金額 1,723,786.²⁴ グァラニース
- | | | | |
|----|-----------|------------------------|---|
| 内訳 | チャベス農協 | 216,235. ⁰² | 〃 |
| | 富士農協 | 310,466. ⁹⁸ | 〃 |
| | ラ・パス農協 | 294,417. ⁶⁶ | 〃 |
| | サンタ・ローサ農協 | 556,988. ¹⁴ | 〃 |
| | アルト・パラナ農協 | 345,678. ⁴⁴ | 〃 |

ヘ. 連合会の資産

- (イ) 建物 食堂1棟、車庫2棟、麻袋工場1棟、宿舎1棟、
発電室1棟、アランブレ施設。
土地約2ヘクタール(車庫、麻袋工場敷地)
- (ロ) 車輛 トラック1台 (ベンツ、トレマー付)
小型トラック1台 (プリンス)

ト. 主たる事業及び成績 (1963年度)

(イ) 受託販売事業

(I) 大豆 販売量 3,100,003.1 キログラム

販売金額 26,669,848.31 グァラニース

販売手数料 266,698.48 ヶ

(II) マイス 販売量 1,358,663.1 キログラム

内 (合格品) 1,260,151.1 ヶ

(不合格品) 98,512.1 ヶ

販売額 5,788,409.21 グァラニース

販売手数料 57,884.10 ヶ

(III) 棉花及び落花生

販売量 769,020.1 キログラム

販売額 13,677,101.1 グァラニース

販売手数料 136,771.01 ヶ

(IV) 油桐及び雑豆

販売量 345,105.1 キログラム

販売額 2519,290.30 グァラニース

販売手数料 30,084.27 ヶ

(V) 農協連受託販売手数料合計

491,437.86 グァラニース

(ロ) 購売事業 (1963年度年間取扱事業成績は下記の通り)

| | | |
|-------|--------------------------|--------|
| 繰越商品 | 2,316,888. ⁶⁰ | グアラニース |
| 仕入高 | 1,338,479. ⁷² | 〃 |
| 売上高 | 1,489,342. ⁵⁰ | 〃 |
| 商品残高 | 2,343,092. ⁵⁰ | 〃 |
| 当期荒利益 | 1,540,750. ⁶⁸ | 〃 |
| 利率 | 11パーセント | |

(ハ) 運輸事業

事業団貸与のトラック(いすゞ6吨車)6台(内1台はアルト・パラナへ転貸)及びベンツ9吨車にて、農産物運搬、購売品搬送等を行った。(但し7月15日現在では、貸与車6台の内、4台を返換し、後2台を利用中である。)

◎運輸収入合計 1,973,939.⁵⁷ グアラニース

(ニ) 給油事業

ESSOと契約し、スタンド経営を行う。

(主たる目的は、資金操作の為)

(ホ) 信用事業

(イ) 当座預金(中央銀行、スペイン銀行、ニューヨークシティ銀行の3銀行)

| | | |
|-------|---------------------------|--------|
| 年間預金高 | 66,836,886. ⁶¹ | グアラニース |
| 年間引出高 | 67,670,330. ⁶⁸ | 〃 |

(ii) 当座預り金 (半協より)

年間預り高 70,015,193.73 ヴェラエース

年間引出高 70,005,925.59 ヴェラエース

(x) 利用事業

(i) 穀物乾燥工場 (事業団貸与)

本年度は、操業を行わず、維持のみにとどまった。

(ii) 麻袋工場

原反をパキスタンより輸入し、ボルサに加工。組合員の適時出荷に協力するかわり収入事業の一つとなっている。(利益は一般会計で計上)

(y) 宿泊所

移住者の便を計るため、実費方針で宿泊所を経営。購買及び書籍の斡旋を行なっている。

(z) 参考事項

(i) 1964年度指定農産物

とうもろこし(マイス)、大豆、棉花、油桐。(マテ茶は加工の都合上、本年度は、準指定とする。)

(ii) 事業団より、貸与を受けている施設

a. 施設 乾燥工場(在館パクワテ)(乾燥機発電機を含む)
マテ茶倉庫(サンクローサ農協附近)

b. 車輛 イスズトラック(6車)2台

単協別融資貸付状況

(単位 = ヶラニース)

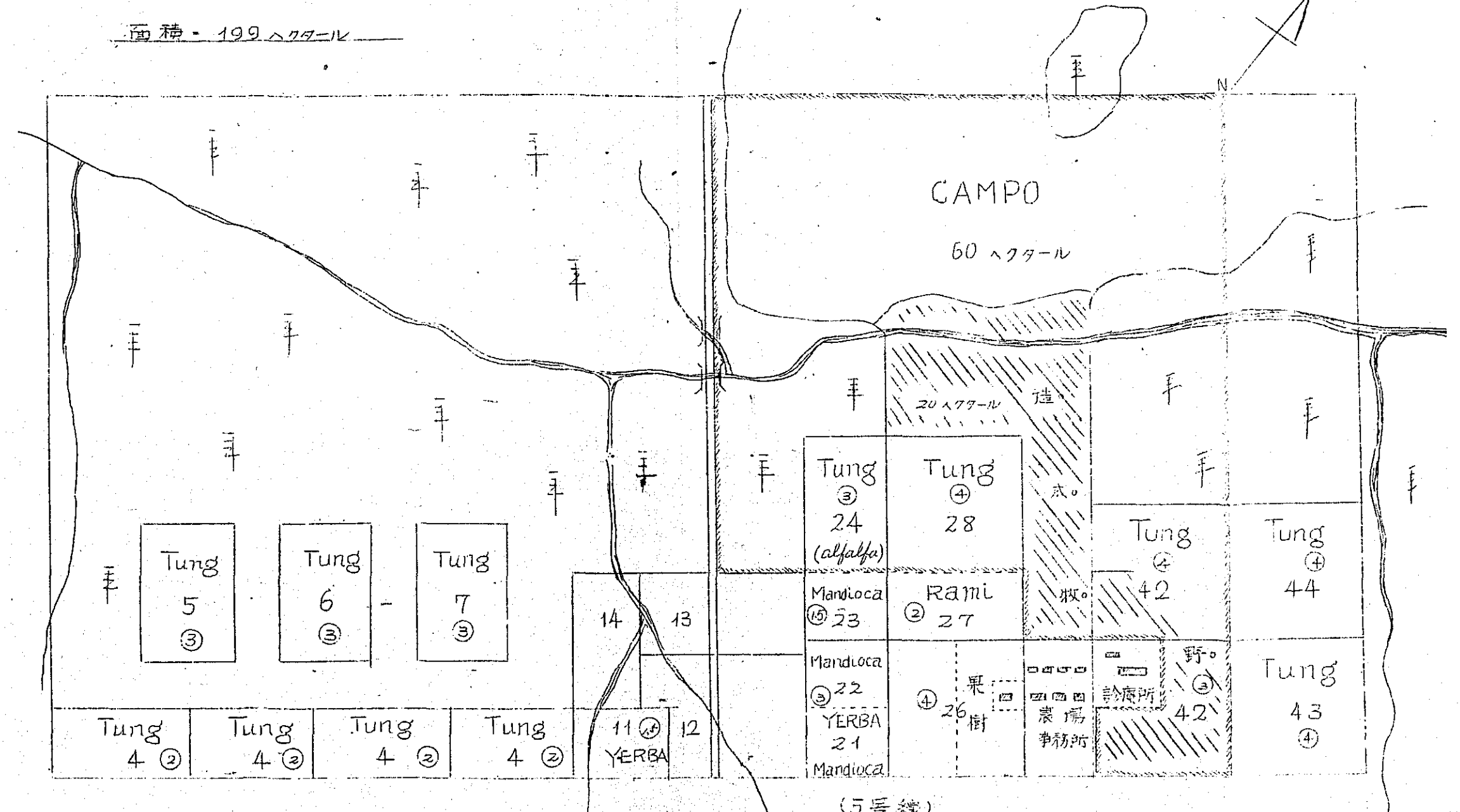
| | 貸付金使途別 | 貸付月日 | 貸付金額 | 備考 |
|---------------------------------|------------|--------------------------|-------------------------|-----|
| イ タ プ ア 農 協 連 | トラック購入資金 | 1960.11.25 | 1,489,635 ⁸⁵ | |
| | 才三次原反購入資金 | 1962.10.30 | 2,016,000.- | |
| | 団体運転資金 | 1963.9.6 | 2,520,000.- | |
| | 才四次原反購入資金 | 1964.2.29 | 2,268,000.- | |
| | 才一次原反購入資金 | 1961.7.4 | 2,420,000.- | 償還済 |
| | マリス集荷資金 | 1961.6.1 | 1,500,000.- | " |
| | 農産物集荷資金 | 1961.12.29 | 400,000.- | " |
| | 才二次原反購入資金 | 1962.3.7 | 1,890,000.- | " |
| | マリス集荷資金 | 1962.5.21 | 2,520,000.- | " |
| | 合 計 | | 17,023,635.- | |
| チ マ バ ス 農 協 | 永年作家畜導入資金 | 1959.3.31 | 1,000,000.- | |
| | 油桐マテ茶増植資金 | 1961.12.14 | 327,000.- | |
| | トラクター購入資金 | 1961.12.21 | 412,650.- | |
| | 短期営農資金 | 1963.9.6 | 800,000.- | |
| | 大豆再播資金 | 1963.12.24 | 63,000.- | |
| | トラック購入資金 | 1964.5.4 | 600,000.- | |
| | 短期営農資金 | 1962.11.6 | 399,924.- | 償還済 |
| 合 計 | | 3,602,674.- | | |
| フ バ ス 農 協 | 永年作家畜導入資金 | 1959.3.11 | 360,000.- | |
| | 農機具購入資金 | 1960.2.12 | 761,000.- | |
| | 大豆脱穀機購入資金 | 1961.9.26 | 1,680,000.- | |
| | 役畜導入資金 | 1961.12.20 | 500,000.- | |
| | 短期営農資金 | 1962.12.5 | 600,000.- | |
| | トラック購入資金 | 1963.1.23 | 630,000.- | |
| | 短期営農資金 | 1963.9.6 | 727,650.- | |
| | 農機具購入資金 | 1963.10.16 | 853,392.- | |
| | 大豆再播資金 | 1963.12.24 | 299,880.- | |
| | 短期営農資金 | 1958.4.26 | 450,000.- | 償還済 |
| | トラック購入資金 | 1958.9.9 | 455,000. ⁷⁸ | " |
| | 農地開墾資金 | 1959.8.17 | 250,000.- | " |
| 農地開墾資金 | 1960.9.22 | 500,000.- | " | |
| 合 計 | | 6,554,931. ⁷⁸ | | |
| 畜 士 農 協 | 永年作家畜導入資金 | 1959.3.31 | 2,150,000.- | |
| | トラック購入資金 | 1958.9.24 | 244,650.- | |
| | トラック購入資金 | 1958.9.9 | 455,003. ⁷⁸ | |
| | 短期営農資金 | 1962.10.25 | 1,000,000.- | |
| | 団体運転資金 | 1963.5.25 | 500,000.- | |
| 大豆再播資金 | 1963.12.24 | 599,760.- | | |

| | | | | | | |
|--|------------|------|----|----|--------------|-----|
| 摩 農 協 ワ ン タ ー サ 農 協 | 農機具購入資金 | 1944 | 3 | 10 | 1,000,000- | |
| | トラック購入資金 | 1964 | 6 | 23 | 577,628- | |
| | 合 計 | | | | 6,527,041.20 | |
| | 永年作家畜導入資金 | 1957 | 3 | 31 | 2,570,100- | |
| | マテ乾燥工場建設資金 | 1962 | 2 | 23 | 730,001.00 | |
| | トラック購入資金 | 1962 | 4 | 24 | 997,779- | |
| | 短期営農資金 | 1963 | 9 | 6 | 625,570- | |
| | 大豆再播資金 | 1963 | 12 | 24 | 441,000- | 償還済 |
| | 大豆作付資金 | 1963 | 10 | 31 | 945,000- | 償還済 |
| | トラック購入資金 | 1958 | 9 | 9 | 455,003.78 | " |
| | 農地開墾資金 | 1959 | 10 | 6 | 450,000- | " |
| | 農地開墾資金 | 1960 | 9 | 30 | 500,000- | " |
| | 短期営農資金 | 1962 | 11 | 8 | 600,000- | " |
| | 合 計 | | | | 8,506,574.20 | |

FRAM農場土地利用図

(1964.4.1) S

面積 - 199 ハクタール



(5号線)

説明 TUNG 20ハクタール, YERBA 3ハクタール
造成牧野 20ハクタール (牛100頭用54.513.)

17. フラム中学校

昨年度よりフラム植民地内に、中学校(6年制の予定)を開設された。校舎は40年度にて、フラム市街地(現在調査中)に建築する予定になっている為、それまでの間、エンカルナシオン市パクワの收容所を、一時仮校舎として利用している。生徒は全員收容所内に寄宿。

生徒数(現在一年生のみ) 男子 5名 女子 5名

教師 専任 2名 時間講師 5名

18. フラム農場

ラ・パス地域内の5号線とQ線の交又する場所に、総面積が200ヘクタールの指導農場が開設され、現在は主として、家畜畜養に従事している。

施設: 事務所 本館 (木造 一部二階) 1棟

職員宿舎 (木造) 1棟

畜舎 (木造) 1棟

その他、宿舎兼炊事場、種子庫(煉瓦建) 収納舎

車庫、農具舎、鶏舎等有り。

車輛類: トラック(トヨタ6車)。 ジープ。

トラクター、各1台を常備。

19. フラム診療所

フラム農場に隣接し、診療所が開設され、現在、産婦人科兼外科の日本人医師1名が常駐している。入院も可能であるが特に重症患者については、エンカルナシオン慈善病院と提携し、そちらに収容出来ることになっている。

従業員としては、看護婦3名、事務員1名、炊事婦1名、

施設 病棟 1棟

車 輛 ジープ1台

20. エンカルナシオン市内の事業団施設等

(イ) エンカルナシオン事業所

パクファ収容所内に事務所を置き、移住者の受入、諸手続き、視察者の便宜供与を行なっている。特にこの事業所の管轄移住地としては、チャベス、フラムの両植民地で、これ等地区の農業指導(主として農場担当)定着に関する諸指導を行なっている。

(ロ) 収容所

◎場 所 パクファ

◎敷 地 2ヘクタール

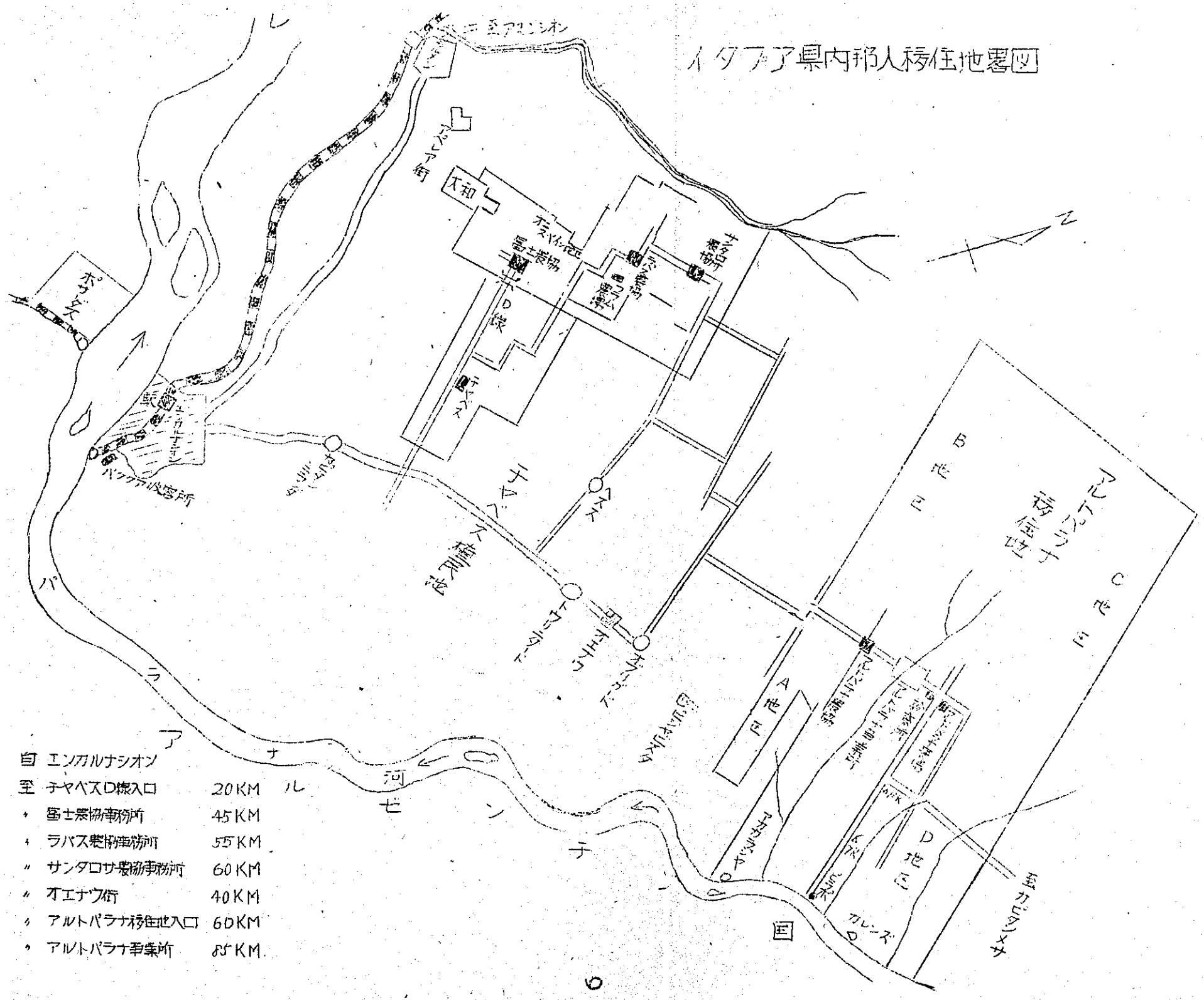
◎建 坪 約 1,900平方メートル

Ⅷ. 倉庫

市内の目抜きにオー倉庫(592 m^2)。パフワにオニ倉庫があり(900 m^2)。いずれも移住者の便に供している。

現在オー倉庫は、イタファア農協連と賃貸契約を結び、オニ倉庫は、契約準備中である。

イタラア県内邦人移住地略図



- 自 エンカルナシオン
- 至 チヤバスD橋入口 20 KM
- ・ 国士業協事務所 45 KM
- ・ ラバス業協事務所 55 KM
- ・ サントロサ業協事務所 60 KM
- ・ オエナウ街 40 KM
- ・ アルトパラナ移住地入口 60 KM
- ・ アルトパラナ事務所 85 KM

